

村岡幹生先生主な研究業績

〔単著 学術論文等〕

- 「中世犯罪史の一考察」『年報中世史研究』六号、一九八一年
- 「日本中世における盗犯の位置・試論 盗みが裁判にかけられる時」『歴史の理論と教育』五八号、一九八三年
- 「一五・六世紀の薬師寺の寺辺郷検断」『史学雑誌』第九七編第一号、一九八八年
- 「近世初頭の春日神人」『日本史研究』三二七号、一九八九年
- 「尾張国大成庄の国人と築堤」『ヒストリア』一二二号、一九八九年
- 「中世春日社の神人組織」『立命館文学』五二二号、一九九一年
- 「鎌倉期における春日社散在神人の動向 南山城九ヶ郷神人と沙汰者」『中京大学教養論叢』三二二巻二号、一九九一年
- 「『所質』『国質』考異説 中世の自力救済と上位暴力依存」『歴史の理論と教育』八七号、一九九三年
- 「中世遊女との対話の一齣」『年報中世史研究』二二二号、一九九六年
- 「中世後期の自力救済 所の衆が所の論理を主張し始めた」『歴史海流』二巻、海越出版社、一九九六年
- 「醍醐寺領尾張国安食庄福德名検注帳案について」『愛知県史研究』四号、二〇〇〇年
- 「本證寺と水野忠重の交渉を示す二点の文書 本證寺文書の調査から発見」『安城市史だより』一一号、二〇〇一年
- 「中世年貢の色」『八事』（中京大学評論誌）一七号、二〇〇一年
- 「志貴庄川嶋郷安養寺で書写された大般若経」『安城市史だより』一二号、二〇〇二年
- 「中世期平野の開発と洪水」（講演要旨）『愛知県史研究』七号、二〇〇三年

- 「吉良町金蓮寺の大般若経について」『愛知県史研究』八号、二〇〇四年
- 「松平三蔵について 尾張・三河を駆け抜けた武将」『安城市史研究』六号、二〇〇五年
- 「大草・岡崎松平家の光重・貞光父子と初期の形原松平家」『愛知県史研究』二二号、二〇〇八年
- 「天文年間三河における吉良一族の動向」『安城市史研究』九号、二〇〇八年
- 「中世三河沿岸地域史の視点」『新編安城市史』からの飛翔」『安城市史研究』一〇号、二〇〇九年
- 「謎の人、松平清康の実像をもとめて」『徳川家康の源流 松平一族』（安城市歴史博物館企画展図録）、二〇〇九年
- 「慶長絵図証文の本證寺」寺内」と「築地之内」』『研究紀要』一七号、安城市歴史博物館、二〇一〇年
- 「永禄三河一揆の展開過程 三河一向一揆を見直す」『新行紀』編『戦国期の真宗と一向一揆』吉川弘文館、二〇一〇年
- 「新出の今川氏真判物と桶狭間合戦前後の高橋郡」『豊田市史研究』二号、二〇一一年
- 「今川氏の尾張進出と弘治年間前後の織田信長・織田信勝」『愛知県史研究』一五号、二〇一一年（大石泰史編著『シリーズ中世関東武士の研究第一七巻今川義元』戎光祥出版、二〇一九年再録）
- 「一揆赦免帰住後の本證寺」寺内」景観と寺領境の築地」『研究紀要』一九号、安城市歴史博物館、二〇一二年
- 「本證寺の寺内と寺領築地」『よみがえる本證寺伽藍』安城市歴史博物館、二〇一二年
- 「一五〇〇年前後の松平一族 岩津一門・大草一門・大給一門」『豊田市史研究』三三号、二〇一二年
- 「松平氏由緒書」の成立と旗本松平太郎左衛門家の形成」『豊田市史研究』四号、豊田市、二〇一三年
- 「旗本松平太郎左衛門家系図の成立」『豊田市史研究』五号、二〇一四年
- 「資料紹介 中条出羽入道常周寄進状（日野烏丸家文書）」『新修豊田市史だより』一四号、二〇一四年
- 「三河湾を跨ぐ戦国期戸田氏の動向」『地方史研究』三七六号、二〇一五年
- 「織田信秀岡崎攻落考証」『中京大学文学会論叢』一〇号、二〇一五年（大石泰史編著『シリーズ中世関東武士の研究第一七巻今

川義元 戎光祥出版、二〇一九年再録)

「松平氏『有徳人』の系譜と徳川『正史』のあいだ」平野明夫編『家康研究の最前線』洋泉社、二〇一六年

「天正三年武田勝頼岡崎攻落作戦 神官家記「嶋邑家根元慶図記」の検討」柳沢昌紀編『日本文化研究における歴史と文学

双方の視点による再検討』中京大学先端共同研究機構文化科学研究所ならびに汲古書院、二〇二〇年

〔自治体史（共著）〕

『佐織町史 資料編二』愛知県佐織町、一九八七年

『佐織町史 通史編』愛知県佐織町、一九八九年

『新修名古屋歴史 第二巻』名古屋、一九九八年

『愛知県史 資料編八 中世一』愛知県、二〇〇一年

『新編安城市史五 資料編 古代・中世』安城市、二〇〇四年

『愛知県史 資料編九 中世二』愛知県、二〇〇五年

『新編安城市史一 通史編 原始・古代・中世』安城市、二〇〇七年

『愛知県史 資料編一〇 中世三』愛知県、二〇〇九年

『愛知県史 資料編一四 中世・織豊』愛知県、二〇一四年

『新修豊田市史六 資料編 古代・中世』豊田市、二〇一七年

『愛知県史 通史編二 中世二・織豊』愛知県、二〇一八年

『愛知県史 通史編三 中世一』愛知県、二〇一八年

『新修豊田市史二 通史編 古代・中世』豊田市、二〇二〇年